

セ・リーグは巨人の独走、パ近鉄・オリックスの首位争い（八月時点）と、何かと面白いくなっている。パ・リーグのように、首位争いが白熱すればするほど、首位決戦は面白く、手に汗握るものとなる。なぜ、野球というのは面白思われる。特の「緊張感」にあるように

長い、長い夏休みが終わりよいよ二学期がスタートすることとなつた。この二学期期というのは、とても大切な学年である。なぜなら、三学期期にある、ア・テスト、高校入試に向けて、勉強を始めなければならぬ時期であるからである。それについては、各自良く心得ていることと思う。また、学校の行事も多く、中一、二生は自分達が部活の主体となるため、何かと忙しい学期

野球というのは、究極的に勝負である。キャッチャーの出したサインにしたがつてピッチャーは意識を集中させ、球を投げる。バッターはピッチャーが投げたボールに全神経を集中させる。そして、お互いの力と力がぶつかり合う男と男の一対一の真剣勝負である。この時、プレイしていく選手は当然として、それを見るだれもが興奮ともいえる

御意見番

「緊張感」を覚えることだろ
う。
この「緊張感」こそが野球
というスポーツがもつ、また
ある。しかし、この緊

僕の学校生活での二学期の抱負は二つあります。一つは家庭学習をすることです。僕は一学期、テストの二週間くらい前からテスト当日まで勉強しただけで、他の日はほとんど勉強をやりませんでした。

となるであろう。
というわけで、ここでは、
何人かの生徒に、どのように
二学期を過ごそうと思つてい
るのか書いてもらつた。

たるんだ頭を
引き締めよう

二学期到来

Na 173
一部 60円

めないようになりたい。二学期は、勉強、塾、部活を全力で頑張りいろいろなことを積極的に協力して一学期よりも良い学年にしたい。



二学期の過ごし方と言えば
そうですねえ……皆さんの御
想像におまかせします。（そ
んなこと書いてると、また秋
山先生に怒鳴られるので真面
目に書こう。○さん。うん。
二期ともなれば、そろそ
ろア・テスト勉強を始めなけ
ればならないお年頃となつた
私達ですが、（でもさあ、先
輩に聞いた所によると、普通

鈴木 良憲

良憲
まい

△二年生▽
中学三年生の二学期は、中
学で一番大変な時だと思いま
す。なぜなら、入試勉強、運
動会、文化祭などがあり、そ
れに僕は生徒会役員なので、
なおさら忙しいからです。
今は夏休みでひとまず安心
していますが、九月からまた
学校が始まるので、忙しい毎
日になります。
しかし、二学期に入つてか
らしなければいけないことは

まあ、勉強以外にも、二学期を過ごしていくうえに私達のボーボーと燃える（熱）さだなあ……。Tさん？」ことがあります。それはやつぱり部活ですね。はい。伊藤先生のように、名前を残すつもりです。（たぶん無理。いや、そんなことはない！）と思う。まあ、とにかく悔いの残らない二学期を……というの。が、私達の過ごし方でしようか。では、最後まで読んでくれた方々、本当にありがとうございました。では、さようなら。（ムリやり原稿を書かされた、O&Tさん）

は夏休みから始めるらしいよ
Tさん。そうみたいねえ。
少しスタートが遅れたよう
ですねえ。忙しい二学期だから
ドラマを三分(それだけかよ)
我慢して、みんなに追いつか
なければならぬ私達になつ
てしましましたが、なんとし
てでも頑張つて、二学期を過
ごしていくつもりです。(二
人の愛?失礼しました。二人
の友情があれば、たとえ火の
中、水の中。本当かよ〇さん
うそです。

私の今年の二学期の過ごし方は、やはりなんといつても入試に向けての勉強を徹底させ、充実した毎日を過ごすといたします。去年のア・テ

しかし自分にそれだけの根性があるかどうかは不安ですが、とにかくやってみなればわかりません。他の同級生もやり始めることです。負けてはいられません。このころになると急に成績が伸びる生徒がいると先生から聞きました。だから自分もあわてないわけにはいかないのです。

今はどんなに苦しくとも、努力をすれば必ず報われると思っています。二学期に向けて頑張つていこうと思います。

山ほどあります。特に入試勉強は真剣に取り組み始めなければいけません。一年生からの復習を始め、同時に三年生の勉強もする必要があります。それらをのりきるためには、毎日の予習復習が大事だと思います。



☆中三英

☆ 中一英

- ・ 単語のつづりをしつかりと覚える。
- ・ 一般動詞を使った文を否定する。
- ・ 文・疑問文にできるようになる。

☆ 中二英

- ・ 一般動詞の過去形・過去分詞形を覚える。
- ・ 助動詞の使い方と意味の理解。

二学期には、英語・数学共に多くの重要な事項を学習することとなる。そこで、中一～中三の各担当スタッフに、二学期の学習ポイントを記してもらつた。勉強を円滑に進めるために、参考にしてもらいたい。

学習のポイント

ストの時も、最初は気合いが入っていたんだけれど、最後までもたなくて、ア・テスト一週間前は勉強をしたことはしたんだけど、あまり頭に入りませんでした。よく考えてみると、これは最初の方にとばしすぎて、気がもたなかつたのではないかと思ひます。先生にも、「お前はやつたりやらなかつたりの差が大きすぎると注意されました。だから今年は、最初からとばしがる」と注意されました。でも、一学期の期末テストで、中学に入つて一番悪い点と順位をとつてしまつたので、ま

た力が入りすぎているかもしれません。この入りすぎてい
る力が二学期にうまく生かさ
れればいいけれど、夏休みに全
部使つてしまつて、また入
試にまでもたなかつたと失敗
することのないように気をつけ
なければなりません。今度
はもう挽回する時がないので
本当に気をつけなければなら
ないと思います。二学期は中
学校最後の文化祭があつたり
で、なにかと行事で忙しい時
期です。けれど、こういった
行事にちゃんと協力しながら、
入試に向けての勉強を頑張り
たいと思います。

他は、運動会・城南祭・活などを、他校と同じで、先生活を紹介すると言つたら、名前は言えなけれども、道でねねたり、町中で歌をうたつてたりで、とにかくすごい先生授業中におならをしてたりで、これくらいにして。ちよつと悪口になる。(?)ことが、自

城南中学は、山にあるだけに景色がよく空気がきれい。でも、山にあるので学校にいくのにとにかく疲れる。でも、自然環境がいいことは確か！他に城南のことというと：毎月やつてある月マラ（月例マラソンの略）があつて、こ れも疲れる。前は生徒全員がタイムをはかつていたけど、今では前と同じようにタイムをはかつて記録を取るコースと、ジョギングコースといふただ走るだけのコースの二つのコースになつたけど、やっぱり記録をはかるために、真面目に走ると疲れる。でも、健康にもいいし、体力もつくからここの行事は、他の生徒がどうう思つていいかはわからないうる。僕はいいことだと思つ

M P S には、城南中をはじめ、十校の中学校の生徒が在籍している。そこで、今号では、その中の四校の学校を紹介することとする。

我が母校



私が通っている城南中学校は、山の中にあって、環境は良いと思う。だけど毎朝古稀庵という坂を登らなくってはいけない。筋肉痛や寝ぼうした日は地獄だ。そんな坂を登つても校舎は古いし、小さい中身だつて汚いし狭い。でも風祭に一番近い学校はここしかないから……。

二年が使つてゐる。(私達又二階。しかも一年と一緒に嬉しくないワ!) 中は、夏は暑く、冬は寒い。なので、夏はのびてゐる人もたまにいる。せめてせんぱうきでいいからつけてくれ。(ちなみに職員室には小型のせんぱうきがある。でも、コンピューター室には「クーラー」が設置されている!) こんなことで騒いでいる私が、「田舎の人」だから。最後に、城南中は、通つた人にしかその良さは分からなければ、良い学校だと思うんだから。古矢美由紀

自分が毎日通っている学校を紹介しろと言わても、何があるか……？（考え中）えーっと、まず学校の回りに縁いっぱいの山があり、とても良いところです？校舎もきれいで気持ちよく勉強ができます（笑）。全校生徒七百人ちょっとの小さな学校で、ひと学年約四十人、二組に分かれています。教室が広く使えます。いつも平和な学校生活をおくっています？あつそれと、この湯本には「さる」が出るのです。「さる」つてあの「ウツキー」のです。部活の練習の時、

は間違いない」といいはつた
あげく、問題を見たとたん
「あら」と自分の間違えたの
に気付いても「あたしのミス
じやない」といはつて逃げ
てしまつた。この時反撃しよ
うと思つたけど、成績が落ち
ると怖いためなんとか抑えた
かわいそうな自分。打倒S先
生！この言葉を胸に私は力強
く生きる！おわり
つる姫じや！

うけど、生徒ならともかく生きも変だからリンドが困っちゃう。それでこれからもう湯本中のしきり役ともいうべき国語のS先生（湯本中の大人ながら分かるよね）について許される限り書きたいと思いつます。でもこれは内密に。事実、今は三年生ですから。まず先生はとっても気が強くて、私とは犬猿の仲。まさに野際陽子もビックリの嫁V S姑の大バトル。この前なんてさあ。テストの問題で先生自分が書き間違えたのに、そのことを言つたら「あたし

美術のI先生。休み時間や
帰りの時など、生徒と井戸端
会議をしているのをよくみか
けます。その先生はしゃべる
のが上手で、相談にものつて
くれます。でも話はじめると
三十分以上話続けるのです。
*魅力その三
噴水に見えない噴水。公園

城山姫編V

▲城山姫編V

それでは、我がS中の魅力について語りましょう。

* 魅力その一
まず設備。私がS中に入学して、まずすごいと思ったのは体育館でした。なんと二階は建。一階は柔剣道場で二階はアリーナと呼ばれる、バレーバスケ、バドミンなどができる、niceな体育館です。

* 魅力その二
S中は変わった先生が多いといわれていますが、個性豊かな先生が沢山います。理科のW先生。授業中、時々芝居をするのです。(ウケま

トに来て、ジヤンブに、そ
の記事がのつたらしいです。そ
学校紹介つて言つたらこの
くらいでしよう、これで僕の
学校紹介を終わりにします。

体育館に入つたら、「さる」の「排泄物」があつたり、力一テンをビリビリにしたり、もう、湯中の名物になるほどです。それから、二年ほど前に、あの「週間少年ジャンプ」の「スラムダンク」を買っていり、「井上雄彦」さんがレポ

「私服試行」はどうかな。ということでおビデオで私のクラスをとった時は、モデル校みたいでうれしかったです。というわけで、少しだけだけど、城山中学校はこの様な学校です。

して「噴水」が出来たし、植木なども植えられて一層きれいになつた様な気がします。学校の中の行事では、この前、「制服自由化」というものがあつて、今回は三日間だけ「制服自由化試行日」がありました。私の感想としては、制服じゃないのでアメリカなどの学生のような気もちよつとはしたんだけど、授業中は、教室がいろんな色になつて落ち着かなかつた気がしました。それに、次の日着ていく服とかを決めるのが面倒くさかつたです。次の試行期間は秋頃でも、一週間ぐらいだそうです。

裏駅から徒歩二分ぐらいで、小田高にも近く、交通の面でも環境の面でも非常に良い学校だと思います。そのせいかいろいろな行事の会場になつています。そういうことなので、学校が結構きれいです。最近では、学校の正門を工事

の噴水のように涼しげだといいのですが、S中のはただ真上に水がじょぼじょぼ吹き出している、という状態なのであります。あまり涼しげではありません。S中の魅力はまだまだあります。ですが、このへんでおわりにしておきましょう。



えつと学校紹介とします。うちの学校は結構いい所だと思います。目の前には海だし後は山だし、だから時々さるが校庭にいたりするし、畑はあるし：まあとにかくのどかです。場所はともかく、校則があまり厳しくなく自由ですね。そして全校生徒が少ないから結構仲がいいのがで（でも女子の方は上下関係がちよつとうるさいかも：）男子とかみんな一緒に遊んでたりします。先生と生徒もすごい仲いいと思ひます。（生徒も少ないけれど、先生もさすがに少ないし。）でも生徒達から、文句ばっかり言われる事もあります。特に部活が少ないことですね。私は自分のことはいりたい所があつたから満足だつたけど他の人達は結構運動部しかないので、文句を言つていました。まあ悪い所はこれくらいにしておきま

舎は結構できたでできれいだし、校庭はすつとよく狭いけど、個人としては自分でもいなかとか言っていますが、自由で楽しい学校だと思つています。矢郷 幸枝

我々スタッフは塾の夏休みを利用して蓼科へ避暑旅行に行つた。参加スタッフは、上村先生、伊藤先生、鍵和田先生、秋山先生の四名。行先は長野県の蓼科。宿泊所は、無期中止になつてしまつたキャンプでお世話になつていた千代田山荘。

十五日午前〇時。お盆による帰省ラッシュを避け、真夜中、上村先生の運転する車で一行は出発。途中、山中湖で休憩をとり、一路蓼科へ。カステレオから流れて来る、ゴダイゴの曲が心地良い。

午前四時半頃、目的地である千代田山荘に到着。しばしの睡眠にはいろいろとするが、なかなか眠れず。結局、ちょっと早めの朝食を取ることにし、午前五時半頃、無謀にも睡眠時間ゼロで、（秋山先生除く）当初から予定にあつた蓼科山登山を決行。本来、登山口まで四十分かかるはずであつたが、不覚にも道を間違え、他の山の頂上を制覇してしまい、無駄な体力を消費しつつ、軌道修正。予定の倍の時間をかけ、午前七時頃登山口に到着。秋山先生が売店で買った朝一番の牛乳を飲みつつ、標高二五三〇メートルの蓼科山の山頂を目指した。

山道はとても険しく、登りも急で、上村・秋山両先生早くも遅れだす。対照的に伊藤鍵和田両先生速い、速い、鍵

和田先生曰く、「無我の境地でどんどん登っていく。頂上が見えてきた。こうなると、不思議と足が動くものである。なんとか全員無事に登頂成功空は晴れ渡り、頂上から見渡す景色は筆舌し難いものであった。「これが登山の醍醐味だ」と感慨にふけり、昼食をとつて下山。途中、「今年七二になります」というおばあちゃんに励され、下のバス停に到着。そこから、三十分も遅れてやつてきたバスに乗り、午後四時頃、安息地である千代田山荘にかえってきた。その後、食事等とつて、午後九時頃には寝にはいり、長い一日を終えた。

翌日十六日、午前八時頃起床。伊藤先生、開口一番「あつちこつちガーガーうるさくて、眠れなかつたよ」(スタッフはイビキがうるさいらしい)朝食をパンで済まし、その日の行動開始。景色を楽しむながら、霧ヶ峰ヘドライブをして、白樺湖でボートを満喫し、午前十一時頃、昼食をとろうと近くの店にはいる。しかし、メニューを広げるとどれも千円以上。席に腰をおろしてしまったが、黙つてその場から退散。隣の店で食事をとり、蓼科湖へ。蓼科湖では伊藤先生と健和田先生がサイクリング。青空の下、一陣風の爽やかな風となつていった。その後山荘に戻り、卓球大会

キャンプ思い出の地 蓼科を訪ねて

しかし、疲労こんぱいのせい和田先生がビリということでお終了。夕食の準備に取りかかることで、メニューは、近くのコンビニで買った、「ジンギスカン」なる焼肉。意外と、おいしくない。食事も終わり、夏の定番である花火をする。山火事予防のため打ち上げ花火は禁止。しかし、そこであきらめる上村先生ではなかつた。なんと、ロケット花火しかも笛付きをぶっぱなしたのである。花火の後は、「麻省大会に突入。」ちなみに、トップは伊藤先生。ビリはその先生の名前のために控えさせてもらう。十時にチエックアウト。山荘の人に礼を言い、千代田山荘を後にし、二泊三日の旅行は終了したのであつた。

編集後記